

令和7年度射水市障がい者基幹相談支援センター事業報告（あいネットいみず）

全 体 目 標 に 対 す る 成 果
・地域社会における共生の実現に向けて、サービスに繋がっていない障がい者及び障がい児が日常生活または社会生活を営むことができるよう、民生委員等や関係機関と連携して支援を行った。 ・地域における相談支援の中核的な役割を担うため、総合支援協議会の事務局を担当し、相談支援体制の構築を図った。

事業内容	取組みに対する実績
(1) 総合的・専門的な相談支援の実施 ア 総合的・専門的な相談支援 イ 市外の関係機関への対応 ウ 支援体制のコーディネート	・90件（36名）に対して相談支援を行った。 ・市外の関係機関から3件の相談支援を行い必要なコーディネートを行った。 ・支援機関と繋がっておらず、適切な相談支援事業所に引き継ぐケースはなかった。
(2) 地域の相談支援体制の充実・強化の取組 ア 地域の相談支援事業者への支援 イ 地域の相談支援事業者の人材育成の支援 ウ 関係機関との連携・ネットワークの強化	・4件のケースについて9回、市内の相談支援事業所への支援を行った。 ・2名の相談支援従事者初任者研修受講者に対して実習指導を行った。 ・射水市地区相談会（9回）スタッフとして出席した。
(3) 地域移行・地域定着の促進の取組	・4件のケースについて精神科病院からの退院に向けた支援を行った。 ・2件のケースについて地域生活定着支援センターと連携して矯正施設退所後の支援を行った。
(4) 権利擁護・虐待防止への取組	・射水市障がい者虐待防止研修を11月に開催した。市内の関係機関から23名が参加。 ・ふらっと、こどもさぼーとnicocoでの虐待防止研修に講師を派遣した。 ・障がいに対する理解を深め、共生社会の実現を目指すために富山国際大学の村上満教授を講師にお招きし、新湊南部中学校1・2年生及び地区の民生委員に対して「教育と福祉の講演会」を開催した。 ・射水市障がい者虐待防止ネットワーク会議及び射水市障がい者差別解消支援地域協議会へ出席した。 ・1件の虐待ケースに対応した。
(5) 障がい者総合支援協議会（部会）の運営 ア 障がい者総合支援協議会（部会）の運営補助 イ 地域課題解決に向けた研究会等の開催	・射水市障がい者総合支援協議会の相談支援部会を12回、子ども部会2回（ワーキング2回）、就労支援部会2回、サービス事業所部会を2回開催しその運営を行った。 ・相談支援部会において4回の事例検討を行い、地域の課題を検討し、射水市障がい者総合支援協議会全体会にて報告を行うこととしている。 ・7月の相談支援部会において「相談支援における意思決定支援について」研修を行った。

職 員 配 置		
区 分	氏 名	資 格
管理者	稲垣 宏	
主任相談支援専門員	田尻 里子	社会福祉士
相談支援専門員	寺岡 栄一	社会福祉士